

一般貨物自動車運送業における起因物なしを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	13～14	配送のためお客様宅横に路上駐車をし、トラックから荷降しをする際、荷物（幅80cm位、高さ80cm位、重さ5～6kg位）を抱え、車両の後部ゲートから歩道に左脚を一步踏み出したとき、肉ばなれを起こした。	57	1～9
1	14～15	工場内3ヶ所積み込み指示を受け、2ヶ所目の積込完了後、3ヶ所目に移動する前に載積物の仮締めを行っていたが、レバブロックを上方向から下方向へ締めていたところ、右手が抜け、右肩を脱臼した。	32	10～29
1	13～14	発生場所は不明だが、トラックの助手席に乗り配達作業を行っていた。2～3週間前から腰に痛みを感じていたものの業務を続けていたが、数日後の業務中に我慢出来ない程の痛みとなり早退した（非突発性腰痛）。	26	100～299
1	16～17	当社敷地内にて、両手で抱えていたオリコンを下ろし、手には何も持たない状態で立ち上がった際に、体からふっと力が抜けた状態になった。その状態のまま向きを変えて歩き出そうと体を捻った瞬間、ぎっくり腰になった。なお、腰の傷病歴はない。	28	10～29
1	13～14	会社の顧客の構内にて荷物を積み込み中、工場内に作業員に荷物を運ぶのを手伝ってと言われたので手伝った所、機械から荷物を降ろす際、体を斜めにしなければならず体勢を変えた所、腰に激痛がはしり、腰を痛めた。	38	1～9
1	15～16	宵積みをしていて、積みあがった商品にラッシングを巻こうと下から帯を反対側に投げたところ、左足のふくらはぎが肉離れを起こした。	47	10～29
1	16～17	荷作業中、荷物を持ったまま腰をひねった際にボキッと音がなり、肋骨の痛みと呼吸困難な状態となり、肋骨骨折を負った。	36	10～29
	17～			50～

1	18	ベルトコンベアの荷物（約30kg）を持ち上げた際に、腰に違和感を感じた。	29	99
2	18~19	プラットホーム上で商品の仕分けを行っている時、足がもつれてしまい倒れそうになったので手をつこうとしたら右手首から先についた為右手首を骨折した。	50	100 ~ 299
2	9~10	コンビニ向け飲料水のピッキング・補充作業に従事していた。1日当たり重さ約10kgの商品（飲料水）の棚入れ（20箱/h×3.5h）および缶酎ハイ6本の袋詰めを30分（0.5h）をしていた。前月下旬ごろから背中に痛みが生じ、暫く様子を見ながら終業を続けた。その後起床時に患部の痛みが酷く受診したところ、左胸部下肋骨挫傷と診断される。	43	50~ 99
2	7~8	荷扱いの際、台車に棚を取り付けようとし板を持ち上げた時、後ろから呼び止められ振り向いた時に腰をひねってしまった。	33	30~ 49
2	12~13	軽量台に車を載せた後、運転席から降りようとした際、足元に段差があり、足を負傷した。	37	30~ 49
2	14~15	荷物をとるためにしゃがみ込んで、立ち上がろうとした際右膝の裏側部分に痛みが出て、そのまま立ち上がることが出来なかった。	30	30~ 49
2	13~14	ホーム付けの入出荷が出来る所でアゴの高さ位までの高さに積み上げたプラスチックの箱を10段重ねた。コンビニの弁当が入っているものを鉄のカギ棒でホームからトラックへの積み込み、積み降ろしの作業中、段差があるため60kg~100kg近くある荷物を持ち上げながら引っ張ってトラックに積み込んでいる時に右腕・背部に痛みがはしり右腕は、内出血までしていた。かなりの重量の荷物を倒さないように早く引っ張ってやらなくてはいけなく、筋肉に負担がかかり激痛が走るようになり仕方なく退職した。	47	50~ 99
2	8~9	走行中、くも膜下出血を発症し走行不能になり壁に衝突し停車した。後続車の通報により病院に緊急搬送された。	42	1~9
2	13~14	納品先荷卸し時、トラック庫内右奥にパレットで積んだ荷物をフォークリフトで引いてもらう為ハンドリフトを使用し庫内後端まで移動する際庫内中央でパレットを方向転換する為、ハンドリフトを押したり引いたりしながら、何度か切り返	31	50~ 99

		しをしていた時に母指に偏った負荷を掛けてしまい脱臼した。		
2	9~10	支店構内で始動不良の集配車両を押しがけするため、車両後部を社員数名で押し始めた時、急に意識がなくなりその場に倒れ込んだ。その時、アスファルト地面で左腕、左腰を打撲したものである。	59	30~ 49
2	9~10	10tウイング車で荷物の配達に行った。荷卸しの為にラッシングバーを外そうとして荷台に上がった際、足をついたところにラッシングベルトがあり、足を挫いた。翌日病院に行き、レントゲン撮影を行ったが判定できなかったため、後日MRI検査を受けたところ、左足の打撲、関節捻挫、立方骨骨折であることが判明した。	37	50~ 99
2	10~11	研修で1ヶ月程集配業を行っていたが、転んでもいないのに両足首の痛みを感じたため病院で診察したところ、両脛骨疲労骨折を診断された。	45	—
2	14~15	支店に到着し、ホームに着けて渡りの鉄板（荷台内に立て掛けていた）を荷台とホームに渡そうとして、鉄板をかかえ向きを変えていた時、腰の左側にグギッという音を感じ激痛がはしった。その後痛みをこらえトラックに乗ろうとしてステップを踏んだ時、再度、ピキッと言う音を感じた。この後から動けない状態となった。	37	30~ 49
2	10~11	路上にてトラックの荷物を下ろした後、トラックに乗る時にドアを閉めた際、首をひねった。路駐をしていた為、交通量が多く急いで車に乗った際、首をひねった。	31	—
2	8~9	構内にて、朝の積み込み時に中腰で荷物の搬入作業を続けていた為、腰に痛みが生じたものである。	47	50~ 99
3	19~20	当社ホームにて1t弱のカゴパレットを、ハンドリフトを使用して大型トラックの荷台へ積み込む際、足に痛みがはしった。力を入れた際に断裂したものと思われる。	45	10~ 29
3	9~10	荷物を持ち上げた際に違和感があり、その後も痛みがひかなかった。	37	10~ 29
		配送先にてトラックから製品を降ろす際、トラックの中柱（重さ約25kg）を持ち		30~

3	5~6	上げた時に、腰部に痛みがはしり負傷した。痛みを耐えながら営業所まで帰ったが、痛みが増悪した。なお、8年ほど前に軽度のヘルニアと診断されている。	47	49
3	12~13	事務所内にて受付中、引き取りの荷物をとりに来られたお客様へお荷物を渡すため、膝をつき荷物を上げた時、腰に激痛がはしり、そのまま立ち上がることができなくなり、腰椎捻挫と診断された。	52	10~ 29
3	15~16	被災者が取引先の倉庫にてトラックに荷物を積み終え、横アオリを閉めるため手でアオリを掴み、引っ張った際に不自然な体勢になってしまい、左肩に痛みがはしり、左肩関節捻挫を負った。	31	30~ 49
3	17~18	積込終了後、角あて作成のため整備工場に座って作業したあと、立ち上がった際にふらつき、鉄くずの入ったドラム缶に左手が当たり、鋭利な部分でけがをする。	42	30~ 49
3	10~11	引越作業中、冷蔵庫を運搬していて、道路から高さ140cmほどのフェンス越しにトラックの荷台ゲートの上にあげようと持ち上げた際、腰を痛める。	33	30~ 49
3	9~10	空箱の積み上げ作業中、足のバランスを崩して尻もちをついたとき、足を挫いてしまった。	38	30~ 49
3	11~12	積込完了後、シート貼りをした際に右手首を捻った。痛みを感じていたが、我慢してそのまま業務の様子をみていたが、後日に配送先で荷卸し中、カート台車を引っ張っている時に右手首と右肩を捻った。	52	10~ 29
3	13~14	顧客先で複合機の搬入作業中、1台を4人での担ぎ上下に1名ずつ補助者をつけ、1Fから2Fへ上げていた際、階段の途中で上がらなくなってしまい、左下側にいた被災者が踏ん張り上へ押し上げた際、左ひざに違和感を感じ左ひざじん帯を負傷した。	44	50~ 99
3	11~12	搬入作業中、ダンボール2箱を玄関前に仮置きする際、しゃがんだ時に痛みがはしりぎっくり腰になった。	46	30~ 49
4	19~ 20	納品業務での仕分けミス、及び検品の確認不足が頻発するドライバーの添乗指導期間中、口頭で注意をしたが良くなることがなく、ストレスが限界に達し暴行に及んでしまった。運転中にバインダーを投げつけたり、納品業務中に殴る蹴るの	46	100 ~

		暴行をしたうえ、車庫帰着時にシフトノブ（20cm程のギア変更ノブ）で頭を小突いてしまった。		299
4	19～ 20	荷物を積み終わり、商品の荷崩れを起こさないようにトラック荷台の最後部で荷締機を使用していた際、右足に痛みがはしった。	56	50～ 99
4	6～7	トラックターミナル内で、トラックの荷台上で配送する荷物（陶器性の便器が入った段ボール、1つあたり約40kg）を積み上げる作業をしていたところ、腰にビリビリと痛みがはしり、痛みで状態を反らしたときに首にも激痛がはしり動けなくなった。	47	10～ 29
4	8～9	駐車場で発電機（540×435×465m/m49kg）をトラック（2t車）の荷台（高さ120cm）に乗せるため2人で持ち上げる時に中腰となり無理がかかったのか急に腰が痛くなり、腰椎を骨折した。	48	1～9
4	2～3	ベルトコンベアで流れる荷物を大型トラックの荷台に積み込む作業の終盤に、急に腰に激痛が走り立っていることができなくなった。その日の積み込みはコピー用紙など1個15キロ以上ある重い荷物が多く、個数も200個以上でいつもより多かった。	24	50～ 99
5	22～ 23	受付（1F）にて接客中に座り込むようにして倒れる。意識が無い状況であり、くも膜下出血であった。	53	1000 ～ 9999
5	21～ 22	弊社の食品冷蔵庫内で、コンビニ向け食品を運ぶ台車の上段から下段へ食品を移動する仕分作業中に、背伸びして食品を取り出した際に腰を痛めた。しばらく静養したが痛みが治まらず、仙腸関節捻挫だと分かった。	37	100 ～ 299
5	7～8	店舗駐車場において、荷物を降ろすため荷台のシートを剥がしている時、腰部を負傷した。	60	10～ 29
5	8～9	RC造6階建共同住宅新築工事現場において、6階スラブ型枠組立作業中、コンパネ貼りを行うため仮置きしていたコンパネの上に乗ったところ、バランスを崩して、真下階の5階コンクリート床面に転落し、右足かかとを粉碎骨折した。	59	10～ 29
5	13～	工場のリターンパレットコンテナ作業プラットホームでコンテナを掃き掃除して	53	30～

	14	いた時に、プラットの段差で右足を踏み外し強く捻って骨折した。		49
5	8~9	荷役レーンに到着後、トラックの幌を開けようとトラック後方に歩行中、左足ふくらはぎに痛みを感じた。	42	100 ~ 299
5	14~ 15	営業所で大型トラックの積込作業中、中腰になって荷物（縦30cm×横40cm×高さ20cm、重さ10kg）を持ち上げ、荷物の上に積み上げている作業を継続している中で次第に胸が痛くなり、痛みが増してきた。その後も運行を続けたが、中腰で前かがみになると息をしても胸が痛くなった。	28	30~ 49
5	7~8	物流倉庫に荷（タイヤ）を下していたとき、荷を下ろし終え、トラックに乗り込もうとドアの横にある階段を上がる途中で左膝に激痛が走り、歩けなくなった。	52	1~9
6	11~ 12	就業先で、車両荷室内より後ろ向きで降りる際、車両サイドバンパーの足掛けステップに右足を乗せようとしたところ、踏み外したため右足首を捻り負傷した。	59	10~ 29
6	20~ 21	荷物を積み納品へ行く途中、道路を走行中にトラックが停車した。ハザードランプも付けずにトラックが橋の上に止まっているとの通報があり、警察官が向かい、車内に本人が倒れているのを見て、救急車を呼び、病院に搬送されたが、その後、心筋梗塞で死亡した。	44	—
6	9~ 10	当日、集配を行う車両に飲料水を積み込もうとした際に、腰を痛め動けなくなり、救急搬送された。	48	50~ 99
6	17~ 18	工場において、出荷伝票作成のため、トラック荷台上にて確認の作業中、当工場のリフト作業者が荷台に次の荷物を積み込もうとしていたので、邪魔にならないように右後方へ下がった際に、荷台の端から足を踏み外し、地面に落下し負傷したものである。	58	100 ~ 299
6	13~ 14	弊社車庫で、トレーラーヘッドのホースを抜く作業終了後、地面に降りる際にサイドバンパーに足を掛けた。その際に足を滑らせて転倒し、身体を支えようと右手を地面に着き、骨折した。	59	—
6	9~ 10	引越作業中、荷物を取りに行く時に雨で滑り、背中と足を打った。その時は背中の方が痛く、足は大丈夫かと思っていたが、痛みが治まらなくなった。	23	30~ 49

6	15~ 16	工場にて、大型トラックにシステムバス、システムキッチン等（約20kg~50kg）の積み込み作業をしていた。作業中に腰に違和感を感じたが、そのまま作業を続けた。しかし、作業終了後に腰に痛みが起こり、動けなくなったものである。	49	50~ 99
7	23~24	配送先に到着、納品を完了し空バット回収中、店舗駐車場内、車両後方に倒れている本人をお客様が発見し救急車を呼ぶ。店舗から連絡を受け、すぐに派遣元担当者へ報告、その後の対応を依頼する。派遣元担当を通じ診断書の提出を依頼中、亡くなられたとの連絡を派遣元担当より受けた。車→3tトラック	56	100 ~ 299
7	9~10	トラック荷台でステンドラム缶を積込中に3段目を上げた時、腰に違和感を感じたが何とか作業ができたので業務を続けた。11日後自宅で床から起きられなくなった。盆休み後、業務を遂行するも腰に痛みを感じた。	52	50~ 99
7	6~7	工場にて、トラックからフォークリフトでパレット積みポリ箱製品を台車へのせ5台連結させて後ろ向きで2歩程度引っ張った際に腰を痛めた。	39	100 ~ 299
7	17~18	以前から腰痛があり数日前から違和感があったが痛みが酷くなり歩行が困難になり申告してきたもの。	30	100 ~ 299
7	18~19	配達先にてメール便を投函後、砂利道を小走り程度で歩いていた時、段差につまづき前のめりになりながら右足を着地させたところ、ひざに激痛が走る。痛みがあるものの当日は仕事を終えて帰宅。	43	30~ 49
7	16~17	下り坂を配達後車両に戻るため歩いているとき右足をひねってしまった。平たんな坂道。ひねってから時間が過ぎ痛みが激しくなり右足の甲のあたりが腫れてきた。	48	30~ 49
7	14~15	当社第2駐車場において、夕方積み込み作業の件で同僚と言い合いになり、つかみあいの喧嘩となった。その際、もみあいになって、同僚が襟首をつかんだまま倒れこんできたため、アスファルトの地面で強く頭を打った。打った箇所になたんこぶができ、出血した。	53	30~ 49
		アルミ缶プレスの積込作業を行っていた。バラ積のため、荷台の上で、くり返し		10~

7	14~15	作業のため、腰に負担がかかったのか、徐々に腰に痛みが出てきた。痛みがおさまらず、第9胸椎圧迫骨折の診断を受けた。	44	29
7	17~18	ホームで月曜日配達分の荷物を積み込み中突然倒れた。	52	10~29
7	5~6	地内にて、荷下ろしを終え、トラックのウイングを閉じようとボディー後部のスイッチボックスの方へ移動をしたが、サイドバンパーに立て掛けていた緩衝材を片付けていないことに気づき、急な方向転換をした際、左足を捻ってしまい痛めてしまった。	48	30~49
7	15~16	配送先のお客様宅で新しい冷蔵庫を搬入していた際、無理に持ち上げた為右手首を骨折した。特にぶつかってはいない。翌日になっても痛みが取れなかった。	50	10~29
7	8~9	会社建物脇にて、あお向け状態で倒れている被災者を発見した。被災者は、会社屋上より飛び降りたものと思われ、全身を強打し死亡した。	44	10~29
7	10~11	納品先の営業所で荷物の降ろし作業を行うため、積まれていた荷物を持ち上げたところ、腰に痛みがはしった。しかし、我慢できないほどの痛みではなかったため、作業を続行したが、次第に痛みが強くなり、動くこともままならなくなったので、病院を受診し、軽度のヘルニアの疑いによる痛みと診断された。	52	10~29
7	21~22	支店にて、大型トラック荷台に商品を積込む作業中、ケースを積み上げたときに腰に違和感を感じ、歩行が困難となった。	44	100~299
7	8~9	構内作業場にて、台車の上ののったポリ製品6箱を両手でまとめて持ち上げて、地面に降ろす際に、置く直前に左手が伸びきったとき、左肘を負傷した。	62	100~299
7	17~18	反物が載った台車をトラックの荷台から引き下ろす際、勢いのついた台車を止めようとして踏ん張ったとき、右ふくらはぎを負傷した。通常は2~3名で行う作業であるが、台車に乗っていた量が少なかったため、一人で行った。	64	10~29
7	12~13	荷物の配達後、車両に戻る際、足が纏れ被災者が転倒し、右足膝を負傷した。	56	30~49

7	8～9	タンクローリーにて輸送先まで輸送後、納入先工場構内の卸場にて、タンクローリー車輛のタンク上部に上がり下ろし作業中、足元が不安定となり、無理な体勢を取ってしまい、腰に強い力が掛かり、腰を負傷した。	44	10～ 29
7	14～ 15	工場にて、1ケース14kg前後の家庭紙のケースを485ケース・6段積みで作業中に、両腕を伸ばした状態で6段目にケースを積む際にバランスを崩した。落としそうになるのを踏ん張って支えようとしたところ、左腕に負荷がかかり過ぎた状態で支えたため、左肩に痛みを感じた。	48	10～ 29
7	17～ 18	引越作業中、家財の搬入をしていた際、トラックの荷台から降りたときに足を痛めた。なお、その際に家財は持っていなかった。	46	10～ 29
7	16～ 17	配達先で、荷物を手に取り持ち上げようとしたとき、荷物を落としそうになり、腕全体で受け止めず指だけで荷物を支えてしまい、右手中指を負傷した。	60	50～ 99
9	19～ 20	会社構内で積込作業中、7?のビール樽を右手でつかみ移動しようとしたとき、右腕をひねってしまった。	40	100 ～ 299
9	11～ 12	当社営業所の倉庫へ移しかえるため、積荷の米袋を大型トラックの荷台に乗り、手作業で地面に置いたパレットに積み替える作業中に、予防のため腰にコルセットを着けていたものの、その動作を繰り返すうちに腰が痛み出し、椅子に座ると痛いまま立っただけで1時間ほど休んでいたが、痛みがどんどんひどくなった。	37	1～9
9	15～ 16	車両の使用についてトラブルがあり、同僚の主任から呼び出されて、休日にドッキング場へ行って話をしたところ、同僚の怒りが収まらず、髪を掴んで張り手や投げ飛ばすなどの行為を受けた結果、後頭部骨折、外傷性くも膜下出血と診断されたものである。	27	100 ～ 299
9	10～ 11	トラックから荷物を持ち配達先に向かう際に、足がもつれて転倒した。転倒する時に顔面を強打してしまい、打撲したものである。	59	100 ～ 299
9	19～ 20	当社支店にて、アクセル板を荷卸し時、無理に力を入れた時に胸部より異音が生じ、動けない状態になった。	42	10～ 29

9	9~ 10	事業所内倉庫にて、住宅用タイル（約20kg）をパレットからパレットへ両手で抱えて積み替える作業をしていたところ、持ち上げた瞬間に急に腰に激痛が起こり立ち上がることができなくなった。	32	30~ 49
9	15~ 16	当社車庫にて新人乗務員にタイヤ交換作業の研修を行っていた際、整備管理者と共に新人を教える補助作業を担当していた、タイヤを車両に取り付ける方法を教える為タイヤを持ち上げた所、左腕からブチッと音がし痛みを感じた。（トラック乗務ができない為、夜間当直業務と振り返る）筋が何本か切れていると診断された。	43	10~ 29
9	19~ 20	荷卸し中にパレット積みしている荷物をジョロダーで引っ張った際、腰部に違和感を覚えた。	45	—
9	5~6	荷をおろすためにトラックの列に並んで待機中、順番が廻ってきたのにトラックを動かさないのを不審に思った会社の同僚がトラックに近づき中を見たら運転席で動かなくなっている被災者を発見した、救急車を呼んで近くの病院に搬送したが急性心筋梗塞により死亡した。	59	1~9
9	9~ 10	集荷エリアに向かう途中、パーキングエリア内のコンビニに立ち寄り、店内で年配の女性とすれ違った際、女性が倒れそうになった為、支えようとしたところ一瞬無理な体勢になり、左足臀部付近を負傷する。	39	50~ 99
9	17~ 18	荷主様宅へ冷蔵庫を集荷する為訪問、家の中から車両まで2人で運搬している途中で足を痛めたもの、台所より玄関まで運搬し持ち方を変えようと一度床に置き、再度持ち上げようとした際に左足が滑りそうになった為、力を入れて踏ん張った、その時、左足裏（人差し指付根付近）に痛みを感じたが我慢できる痛さだと思い作業を継続させた。その後、左側第1指骨折と診断された。	22	30~ 49
10	9~ 10	個人宅に配達へ行き完了後、門扉を開け路上に出ようとした際、段差を見落とし着地した際、左足首を捻り、靭帯損傷となりました。	34	50~ 99
10	10~ 11	車両のない配達員にてセンター出発後、配達先に到着し、箱台車から荷物を取り出そうとした際に踏ん張ったところ、腰部に激痛が走り、動けなくなった。	44	10~ 29
	14~	ブドウ糖（砂糖）の紙体のパレットの組み替え作業中に、約155~160cmのちよっ		30~

10	15	とやりづらい高さの作業で紙体を持ち上げた際に左肩・左腕の筋を痛めてしまった。	39	49
10	16～ 17	トラック荷台でパレットに載った紙装20俵（1俵25kg）を下ろしやすいようにパレットから1俵ずつ、普段と同様な作業手順で、荷台に下ろしている時に腰に痛みが走った。下ろす作業の他に要因はない。	53	30～ 49
10	17～ 18	倉庫内にてトラック積み荷作業中、煽りをあげようとした時に腰に強い痛みが走った。	31	10～ 29
10	11～ 12	午前中作業の休憩時、歩行中に腰に激痛がはしり立ち上がれなくなる。	24	30～ 49
10	11～ 12	荷物積込終了後、トラック荷台を整理整頓中に毛布入れ袋（80×105×55cm、42kg）を引きずろうと、引っ張った時、腰に激痛が走った。	58	30～ 49
11	10～ 11	納入先にて石油の荷卸し終了後、ホースを持ち上げ車に収納しようとした時、右手首を負傷した。	47	50～ 99
11	19～ 20	4t車両で積込作業を行っていた、トラックの荷台で商品を載せたパレット（110cm×110cm×110cm、総重量132kg）に引っ張り棒を引っ掛け移動させようと手前に引っ張ったところ引っ掛けた引っ張り棒が外れた際、後方にのけぞったところで首に痛みを感じた。	32	10～ 29
11	4～5	商品を協力会社の車両に積み替えをし、荷台の扉を閉める際、隣で動き出した車両と扉の間に右手を挟まれた。	37	30～ 49
11	23～ 24	倉庫内で仕分け作業中に、ピックアップした商品を持って小走りした際、右足に肉離れを起こしてしまった。	38	30～ 49
11	15～ 16	用を足すため、店内に入る際段差に気付かず、足を段差に引っ掛けて躓いてしまった。少し痛かったが我慢して仕事をした。しかし、夜中我慢できない痛みがあったので病院に行った。	54	50～ 99
11	15～ 16	荷卸し現場にて、石膏ボードを両手で持ち、移動しようとした時、踏み出した足（左足）に痛みを感じた。当初は、痛みはそれほどなく、作業は完了したが、帰	47	30～ 49

		社した時に痛みが強くなっていたので受診し、左腓腹筋損傷と診断された。		
11	13~ 14	配達先にて不在票を書き終え階段を下りていたところ、足を軽く捻ったのか痛みと音を感じた。帰社後も痛みがあったので病院に行ったところ、骨折が判明した。	44	30~ 49
12	8~9	倉庫の外で、さつまいもコンテナをフォークリフトで下ろす作業中に荷崩れに気付、慌ててフォークリフトから降りたとき、足をひねってしまった。	45	10~ 29
12	12~13	職場倉庫内にて、高い所の大掃除を行っていたとき、電話が鳴ったために1.2m位の高さの位置から急いで飛び降りたところ、左足首に違和感を覚え、骨折が判明した。	50	30~ 49
12	11~12	配送先にて、トラックの荷台のゲートから降りた際、左足首を捻り、捻挫してしまった。	44	30~ 49
12	8~9	駐車場（発着ピット）にて配達車両に荷物の積み込み作業終了後、小走りで倉庫に戻る際、踏み切った左ふくらはぎに激痛が走った。	49	1~9
12	9~10	引越作業中、ダンボールを持ち上げた際に腰に痛みを感じ、徐々に左足に痛みとしびれを感じるようになった。	36	30~ 49
12	17~18	荷主の倉庫内でフィルムが載った300kg位のパレットをハンドリフトでトラックに積み込む作業中、両手で引いていたときに右側に寄りすぎ、他のパレットに引っ掛かり、前のめりになってしまい、その後、足のしびれ等で車の運転が不可能になったため、救急車を呼び病院に搬送された。	56	30~ 49
12	12~13	詰め込み作業中、シューターからBOXを引き込みローラー上で横送りする際に、左足脛に痛みを感じた。なお、足の位置を変えた、捻った等はない。	46	100 ~ 299
12	16~17	自社倉庫内で荷積み作業をしているとき、右足を捻った。その際、右足に違和感を抱いたが、その日はそのまま作業を続けて一旦帰宅した。翌日も痛みが治まらず、腫れ上がっていた。	52	10~ 29
12	11~12	配達を終え、階段で上階に向かうため歩行中、段差があることに気づかず、足首を捻った。	43	10~ 29

12	17~18	乗客の荷物をトランクに入れ、残りの荷物を後部座席に入れるため前に回ろうとしたとき、自車の車止めに足が躓き、転倒を免れようとしたときに腰を捻った。翌日、痛みが続いたため病院を受診したところ、第3腰椎圧迫骨折と診断された。	64	300 ~ 499
12	8~9	クール仕分け作業を行っていたとき、仕分担当場所に戻ろうとし、別作業員の作業中の足に引っかかり、転倒した。	54	30~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html